

品質管理検定レベル表

◆受検されるみなさまへ — レベル表の見方について◆

・4級は、Webで公開している“品質管理検定（QC検定）4級の手引き（Ver.3.1）”の内容で、このレベル表に記載された試験範囲から出題されます。

※凡例 — 必要に応じて、次の記号で補足する内容・種類を区別します。
 () : 注釈や追記事項を記しています。
 《 》 : 具体的な例を示しています。例としてこの限りではありません。
 【 】 : その項目の出題レベルの程度や範囲を記しています。

級	認定する知識と能力のレベル	対象となる人材像	試験範囲		
			品質管理の実践		品質管理の手法
			品質管理の実践	品質管理の手法	企業活動の基本
4 級	<p>組織で仕事をするにあたって、品質管理の基本を含めて企業活動の基本常識を理解しており、企業等で行われている改善活動も言葉としては理解できるレベルです。</p> <p>社会人として最低限知っておいてほしい仕事の進め方や品質管理に関する用語の知識は有しているというレベルです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて品質管理を学ぶ人 ・新入社員 ・社員外従業員 ・初めて品質管理を学ぶ大学生・高専生・高校生 	<ul style="list-style-type: none"> ■品質管理 <ul style="list-style-type: none"> ・品質とその重要性 ・品質優先の考え方（マーケットイン、プロダクトアウト） ・品質管理とは ・お客様満足とねらいの品質 ・問題と課題 ・苦情、クレーム ■管 理 <ul style="list-style-type: none"> ・管理活動（維持と改善） ・仕事の進め方 ・PDCA, SDCA ・管理項目 ■改 善 <ul style="list-style-type: none"> ・改善（継続的改善） ・QCストーリー（問題解決型QCストーリー） ・3ム（ムダ、ムリ、ムラ） ・小集団改善活動とは（QCサークルを含む） ・重点指向とは ■工程（プロセス） <ul style="list-style-type: none"> ・前工程と後工程 ・工程の5M ・異常とは（異常原因、偶然原因） ■検 査 <ul style="list-style-type: none"> ・検査とは（計測との違い） ・適合（品） ・不適合（品）（不良、不具合を含む） ・ロットの合格、不合格 ・検査の種類 ■標準・標準化 <ul style="list-style-type: none"> ・標準化とは ・業務に関する標準、品物に関する標準（規格） ・色々な標準《国際、国家》 	<ul style="list-style-type: none"> ■事実に基づく判断 <ul style="list-style-type: none"> ・データの基礎（母集団、サンプリング、サンプルを含む） ・ロット ・データの種類（計量値、計数値） ・データのとり方、まとめ方 ・平均とばらつきの概念 ・平均と範囲 ■データの活用と見方 <ul style="list-style-type: none"> ・QC七つ道具（種類、名称、使用の目的、活用のポイント） ・異常値 ・ブレインストーミング 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品とサービス ・職場における総合的な品質（QCD+PSME） ・報告・連絡・相談（ほうれんそう） ・5W1H ・三現主義 ・5ゲン主義 ・企業生活のマナー ・5S ・安全衛生（ヒヤリハット、KY活動、ハイシリッヒの法則） ・規則と標準（就業規則を含む）